

春号

SPRING ISSUE

京印季報

# Kyoinkiho

2024 SPRING

Special Contents:

春季特別企画

「～自社再発見～ ペーパーサミット2024」

合同出展への取り組み



2024 SPRING

- 1 | 巻頭言／副理事長 内藤 一徳
- 2 | 春季特別企画「～自社再発見～ペーパー  
サミット 2024」合同出展への取り組み
- 6 | 令和 6 年新年互礼会開催
- 7 | 令和 5 年度近畿地区印刷協議会例会開催
- 8 | ～京都府知事杯争奪戦～第 3 回スポ GOMI  
大会 in 西院開催
- 8 | 企業見学・研修会開催
- 9 | 令和 5 年度親善ボウリング大会開催
- 9 | 「京都ビジネス交流フェア 2024」にブース  
出展
- 10 | 京都府印刷企業の賃金実態調査
- 12 | 委員会だより／共済委員会  
組織委員会
- 13 | 中央会助け合い隊事業 異業種交流会に  
ブース出展
- 14 | 支部だより／下支部
- 14 | 会合だより／京都府印刷関連団体協議会  
京都青年印刷人月曜会  
京都印刷協和会
- 15 | 組合員 NEWS
- 16 | 令和 6 年能登半島地震災害 義援金募金  
結果のご報告とお礼
- 16 | よしみ散歩 ～印刷会館周辺地域のご紹介～
- 17 | 印刷会館利用状況
- 17 | 組合日誌
- 17 | 2 月・3 月定例理事会開催概要
- 18 | 事務局からのお知らせ
- 18 | 組合員異動
- 18 | 訃報
- 18 | 表紙作画者紹介
- 18 | 編集後記



近年、地球温暖化による気温の上昇と気候の変動が様々な自然災害を引き起こすと共に、私たちの生活に大きなリスクをもたらし、環境への取り組みはますます重要となっています。

私の住む亀岡は、豊かな自然を守り次世代へ引き継ぐため「世界に誇れる環境先進都市」を目指して様々な環境問題に取り組んでいます。

例えば、2022年 1 月に全国初のプラスチック製レジ袋提供禁止条例を施行した結果、現在、市内大手スーパーでのマイバックの持参率は95%となりました。

また、ウォーキングをしながら自由なタイミングで気軽に清掃活動を行うエコウォーカー事業では、1,200名を超える登録者が活動されています。

昨年はポイ捨て禁止条例を制定し、市民がポイ捨てゴミについてライン投稿できるサービス「ポイ捨てごみゼロプロジェクト」が実施されました。

このように市民を巻き込みながら環境美化活動を充実させることで、美しいまちづくりをめざしています。

過日、当組合が主催した「第 3 回スポゴミ大会in西院」は、組合員のみならず大学生や舞鶴市の海上自衛隊員チームなど14チーム69名が参加されました。それぞれのチームが競技としてゴミ拾いを楽しみながら環境美化活動に貢献し、人と地域に良き影響を与える素晴らしい事業となりました。

全印工連が掲げるブランドスローガン「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」へと繋げる為にも、一人ひとりが更に環境保全への意識高揚に務めると共に、今後も地域の活性化に繋がる事業を展開していきたいと思っています。



<https://kyoinko.jp/>



京都府印刷工業組合

副理事長 内藤 一徳



～ 自社再発見～

# 「ペーパーサミット2024」 合同出展への取り組み

組合員・パートナーシップ会員11社の物販品を展示・即売

教育委員会 / 委員長 山下 昌毅

去る2月17日(土)、18日(日)の2日間、大阪府印刷工業組合主催「ペーパーサミット2024」(於 大阪産業創造館)会場内に京印工組ブースを出展しました。

「ペーパーサミット」は印刷の可能性を業界内外に広く周知するイベントで、「紙(印刷)」の持つ魅力や楽しさを伝え、新たな発見や体験を提供することを目的に企画されたものです。

京印工組ブースのコンセプトは「自社再発見!」。これまで培われてきた独自技術やノウハウを活かして開発した組合員11社のオリジナル紙製品や印刷に関する様々な商品を多数展示・販売しました。

今回の特集記事のテーマは、「ペーパーサミット2024」への出展報告です。初めに主催者である大阪工組地域共生委員会委員長の溝口様より、ペーパーサミットの開催趣旨やこれまでの経緯等について伺いした後、当組合の出展企業11社様よりご寄稿頂いた、商品開発に関するエピソードや出展を了えた感想等をご紹介します。ご一読頂き、是非一緒に「自社再発見!」への一歩を踏み出しましょう!!

## 【ペーパーサミット2024開催要領】

**主催** 大阪府印刷工業組合  
**日時** 令和6年2月17日(土)・18日(日)  
**会場** 大阪産業創造館



京印工組ブース



京印工組ブース

## ペーパーサミット 2024の概要



大阪府印刷工業組合 地域共生委員長 溝口 剛司 氏

「ペーパーサミット2024」は大阪府印刷工業組合が主催しMEBIC(クリエイティブネットワークセンター大阪)と大阪青年印刷人協議会の協力により開催されました。印刷の可能性を業界内外に広く周知するイベントとして2021年に初開催し、今年2月の開催で、第三回目を迎えました。

このイベントは、クリエイターと印刷会社がコラボレーションすることで、「紙(印刷)の持つ魅力を表現し、紙の楽しさや新たな発見・体験を一般の方々に提供することを目的としています。

2/17・18に開催致しました「ペーパーサミット2024」は、事前予約「テクト」を使い、総来場者数は2日間で2,248名。出展スタッフ・運営スタッフ約250名を含めると、約2,500名の大会となりしました。

2023年6月よりHPを立ち上げ、説明会・プレゼン会・印刷会社見学会を実施し、9月よりコラボレーションエントリー・物販エントリー・ワークショップエントリーを開始。11月にコラボ15社、物販14社、ワークショップ11社が決まり、それぞれの進捗状況や制作状況をHPにのせて共作モノづくりフェスを後押ししてきました。京都府印刷工業組合からも、物販2ブースご出展頂きました。

「ペーパーサミット2024」実行委員会も、ペーパーラビットという、ペーパーサミットキャラクターをつくり、Tシャツプリント体験ワークショップやCMYK+金のスタンプラリーにも活躍致しました。また、毎年恒例の紙詰め放題の他に紙グッズ福袋を限定数で販売し、2日とも、あっという間に完売致しました。

また、それぞれのコラボブースの人気投票を行い、欲しいもの、面白いもの、素晴らしいものを、1つずつ選んで頂きました。

広報としても、PR TIMES・NHK大阪・Yahooニュース・産経新聞・朝日新聞など51媒体にはたらきかけ掲載等して頂きました。皆様のご協力の結果、印刷会社の社員の家族の方にも一般の方にも、紙のすばらしさを体験して頂けたらと思っております。次回は益々バージョンアップして、出展内容、出展者を広げ、頑張っていきますので、今後ともよろしくお願致します。

## 出展企業11社様のご紹介

### ■共同印刷工業株式会社

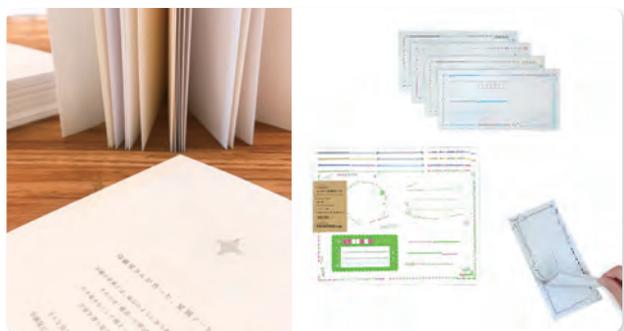
多品種だけど小ロットの仕事は、印刷の立場からすれば「手間の掛かる」「ミスを誘発する」「こだわりがすぎる」とついつい言いそうになり、都合のいい型にはめ込もうとするものです。しかし、ペーパーサミット2024に出展されていた各社様に、ブースを埋め尽くすオリジナル商品の多さと、それらが多岐にわたる多様なアイテムであったことに驚きました。今回のイベントに参加してみて「お客様は手間の掛かるものを求めているのかもしれない」「ミスをしない方法があるかもしれない」「オリジナリティーはこだわりから生まれるかもしれない」と思うようになり、都合のいい型にはめ込まない視点や気付きの大切さを実感しました。



### ■有限会社修美社

2012年頃からB to Cへの販路開拓をしてきた弊社は、紙の可能性を拡げてきました。工場内に少し余る紙を使い、オリジナル商品の開発を進めてきました。組合として出店するにあたり、これまでの商品にプラス、2018年に復活した活版印刷機(プラテン)の商品開発を新たに進めて、「fucchi(フッチ)」という活版の罫線をリ・デザインして、レターセットの商品を作りました。得意である特色印刷との組み合わせで若者層にも響く一筆箋や封筒等のラインナップを揃えることができました。

今回、受託としての印刷とは違う思考でものづくりをすることへの考え方やB to Cの販売への興味等は社員一同高まる良い機会にもなりました。成果は上出来だったと感じています。



### ■藤原製本株式会社

この度は、弊社のオリジナル商品を展示して頂き、誠に有難う御座いました。印刷組合様のご協力により、弊社の商品が多くのお客様にご覧頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

展示して頂いた「パラパラメモ帳」は、メモ帳としての機能だけでなく、めくるたびに動くパラパラ漫画が楽

しめる革新的な商品です。制作には技術とアイデアが必要で、弊社の製本技術が高品質を実現しています。

「新撰組マスク」は、女性に人気の布製マスクです。柔らかな素材と淡いピンク系の色味が、顔全体を暖かく彩ります。京都文化博物館での新撰組イベントにちなんだデザインは、歴史ファンにもおすすめです。

今後も、印刷組合様との協力関係がさらに深まり、ビジネスを発展させていけることを楽しみにしています。再度、この機会を与えて頂き、心から感謝申し上げます。



### ■ 岩本印刷株式会社

弊社では「印刷の魅力研究所」を旗印に、紙や印刷の魅力や可能性を発信しています。過日開催されたペーパーサミット2024においては「紙製名刺ケース」を販売しました。商品名の通り紙のみでつくった商品になります。完成品ではなく、お客様に組み立てて頂くことも商品の特徴であり魅力だと考えています。レーザー加工機でしか加工できない細かいスリットを入れ、紙が曲がるようにしています。今回10個(サイドパーツ5色×2セット)用意したところ、全て購入して頂きました。ありがとうございました。展示やPR方法を改善することで、もっと商品の魅力を伝えられるのではないかと考えています。引き続きよろしくお願ひ致します。



### ■ 河北印刷株式会社

2月17日(土)から18日(日)に開催されたペーパーサミット2024において、弊社は3種類の「はんなり帖」を出品しました。

これらは、京都・西陣の紋織物「金らん」を表紙にした上製本仕様のノートです。

従来販売していたはんなり帖をペーパーサミット向けに仕様を変更しましたが、ありがたいことに多くの方々に興味をもって頂くことができました。特に「御朱印帳ではないのか!？」というご意見を多数頂きましたので、もし来年も出展する機会がありましたら、河北オリジナルの御朱印帳を開発したいと考えています。

最後に、このような機会を提供して下さった京印工教育委員会の皆様に感謝申し上げます。



### ■ 有限会社寺平美術平版

寺平美術平版にはこれまで紙製の商品がありませんでした。今回のペーパーサミットのお話をいただいてから3つの商品の企画、デザイン、製造を行い商品化することができました。「自社再発見」ということで、オペレーターから自社の得意な印刷や挑戦してみたい印刷等を聞き、商品化した特色16色刷りポスター「印刷界限絵図」は、印刷業界、デザイナーの方々から興味を持っていただくことができました。商品としては伸び悩みましたが、これから新しいことに挑戦する第一歩として、商品化する全ての過程が良い経験となったと思います。ペーパーサミットを通して、印刷や紙の可能性はまだまだ広げていけると実感することができました。



### ■ 株式会社波部太陽堂

弊社は、京都で約120年紙加工専門で続けてきた会社です。今回出店した目的は、紙を型に抜くトムソン化工の工程で出た「紙出」と言うリサイクルに出す紙ですが、色々な形に切ってあるので、リサイクルに出すだけではもったいないと思い製品にしてみました。

私自身、子供の頃に会社から持ち帰ってよく遊んでいたので、小さな子供たちに喜んでもらえるのではと思い出展しました。



## ■株式会社やまとカーボン社

J PなどのBtoBの展示会と違い、エンドユーザー様の生の声を聞くことができるというのは貴重な体験であると思ひ参加致しました。商品開発に関しては、若手社員の声を中心に、自社内で全て完結できるもので、印刷会社様にも販売して頂けるものとして考えました。今回参加してみて、お客様の声を聞いて非常に参考になりました。また、商品のクオリティもそうですが、どれだけいい商品でも見せ方が悪いと売れません。アピール方法も勉強していかなければならないと思ひました。



## ■大和印刷紙工株式会社

大和印刷紙工では、4人のクリエイター様と共同で1枚ずつ切り離して使えるMEMO NOTEを制作しました。本文と表紙は社内の紙出(余り紙)。そして、製本は、社内で眠っていたHORIZON製の製本機(くるみ製本・天のり製本可)を使用。印刷は大和印刷紙工のオフセット印刷機で実施(K+ニスの2色刷り)。加工は、すべて手作業で実施しました。

本当ならくるみ製本で簡単に製本テープを留められたはずが、のりがうまくつかずに天のり製本してから手作業で製本テープ留めを行うことに…。時間はかかりましたが、初めて商品として制作したMEMO NOTEが会場でお客様の手に渡り、喜んで頂く姿を見ていると本当に嬉しかったです。



## ■内藤印刷株式会社

「京都亀岡まちなみ百景」は、私たちのふるさと亀岡市の風景を水彩画にして、新しい魅力を引き出すことで地域をもっと元気にする新たな原動力にしたいという思いから始まりました。

今回は亀岡の絵はがきだけでなく、観光都市・京都の絵はがきも一緒に出展させて頂きましたが、知名度の高い京都だけでなく亀岡の絵はがきも手にとって頂くことができ、私たちの思いが少しでも伝わったかとうれしく思っております。

また、他の企業様のブースを見せて頂き、日頃からアンテナを張り柔軟な考えを持つことの重要性を改めて感じました。ありがとうございました。

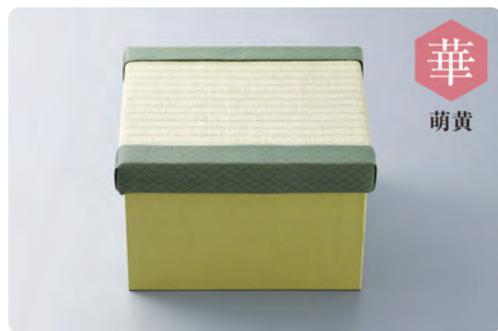


## ■株式会社松村洋紙店

ペーパーサミット2024に出展させて頂き誠にありがとうございました。この展示会を運営されたスタッフの皆様、ありがとうございました。この展示会を通じて各会社様が販売されていた印刷物や製品の進化を目の当たりにしましたが、紙は工夫しやすくまだまだ発展できる素材であることを改めて認識いたしました。

展示会では蓋に畳を貼り合わせをしたTATAMIBAKOを販売しました。TATAMIBAKOのサイズは縦260mm×横240mm×高165mmです。ブースに来られたお客様は畳を使った箱で斬新さが有り目を引きましたが、大きなサイズで持ち帰りができないという理由が多く2日間での販売数は5箱でした。改めて一般のお客様への販売の難しさを感じました。

TATAMIBAKOに興味を持たれたお客様より貴重なご意見や要望を多数頂きました。このことを参考にTATAMIBAKOをより良い商品にできればと考えております。次回もこのような展示会があれば参加させて頂きたいと思ひます。



## 【ペーパーサミット2024への出展を了えて】

京都府印刷工業組合 教育委員会 委員長 山下 昌毅

今回、ペーパーサミット2024の出展の運営を教育委員会として受けさせて頂きました。京印工組としても初めての取組みのため、組合出展者を集めるために、教育委員会ではどのようなコンセプトで周知し興味を持って頂くかを考えました。

「自社再発見!」はBtoBが多い私たち業界、BtoCへの第一歩として、社員と一緒に考え、自社設備や協力会社さんとの協業で普段から作っているものにほんの少しアイデアを入れて商品になるのではないかと是非、自社で考えようというお願いになりました。

京印工組のブースは11社の商品があったため人気のブースになりました。また、販売に立ち会って来場者の声を聞けることは、今後に繋がる多くの学びがあったと聞くことができました。本当に良い取組みになりました。

(文責 編集委員会)

